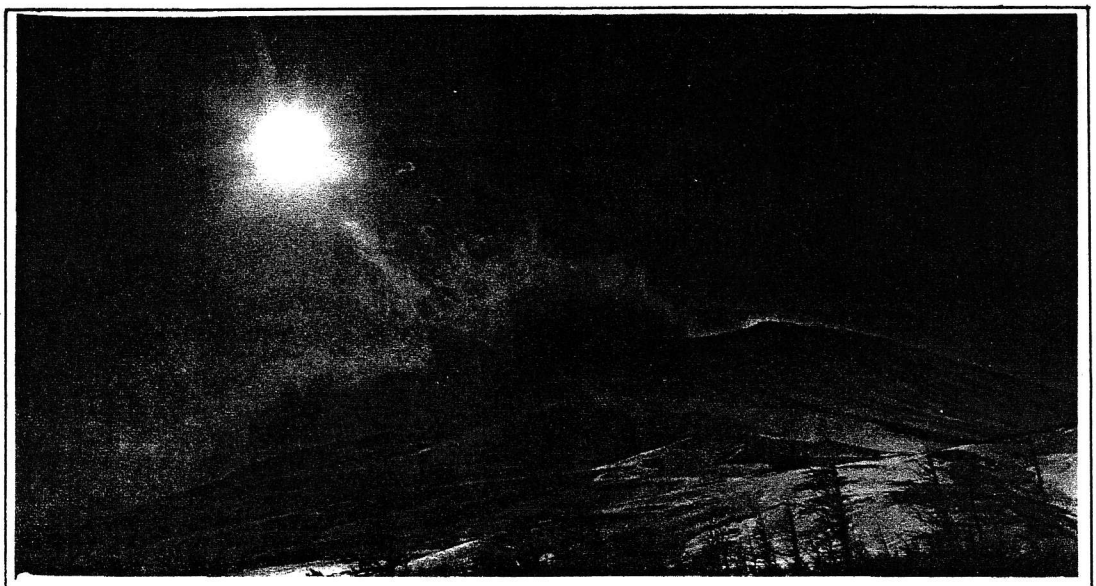
昭和４８年９月１日　発行

埼玉岳連

発行所　埼玉県山岳連盟
埼玉県東松山市松葉町2−15−8
発行人　清水武甲
編集人　花輪滋実

第５号 (1)



山について気のついた事

野井篤

山登りは大変楽しいスポーツであると共に大変きびしいスポーツである。そのきびしさは現在の武道以前のものと似ているしそれ以上であろう。

昔の武芸者はいつも死を見つめ、より強い敵を想定し、いついかなる時にも対処出来る技術と精神力を身につけるべく修業した。しかし敵といっても人間である。その人間を倒す技術を錬磨する事は人道に反する事である。しかし武術はもともと身を守る為の術であり、そこで心の問題が非常に重要視されたのである。

正しい心は正しい判断と正しい行動をとり、正しからざる心の持ち主はいかに優れた技術を持っていても技術に溺れて人を傷め社会に害毒を流し、身を滅ぼすとして強くいましめられたのである。

人間の心は鏡の様なもので磨けば磨くほど物事が良くうつると云われた。剣聖は敵の邪心を心にうつしてさとらせたと云う。戦わずして勝つ事は武術の最高の奥儀とされたのである。又、正しい者は必ず勝つという思想も生れ、精神力の集中は能力以上の力を生んだのである。武術は仏教の影響も受けて技術と心の関係について非常に細かい点迄説明されており、現在の目で見てもうなずけるものが多くあると思う。他の国には見られない偉大な精神文化である。

山も出発点は違うが、大変参考になる事柄が多いと思う。昨今の複雑な社会、そして外面のみで物事を判断する悪、山も又物に浮わついた登山技術、たとえば剣の様なものである。正しい判断をあやまると非常に危険なスポーツとなる。まかりまちがえば社会を騒がせるばかりか岳人の信用を落し、自分もほろびる事にもなりかねないのである。

最近の登山人口は大変なものである。山を理解する人が増えるのはうれしい事であるが、それにともなって種々の問題がさわがれている。自分自身を正しく理解し、正しい事を実行する事がいかに重要であるか考えさせられるのである。

（埼玉県山岳連盟　理事長）

やぶこぎ

◇県南の雑踏するロックグレンデをさけて、開拓者精神よろしく新しいグレンデを探しに今日もきた。前回の下見に続いて今度こそはと胸おどらせて来たのだが、折からの雨、またかと舌うちして登ってみたものの、所詮人の見知らぬ場所、道もなければ踏み跡すらわからぬ所、頭上を見ても木ばかり、不安と期待が入り混った三〇分のやぶこぎが終り、手にした岩肌の冷たい感触、サアーてどうルートを開いてやろうものかと辺りを見まわすと手ごろなクラックがあるが、しかしもろい岩垂壁に近い傾斜と行く手をはばむものが多い。そのうち雨は本降りになりブヨの群になやまされて意気消沈、早々に引き揚げることとなった。

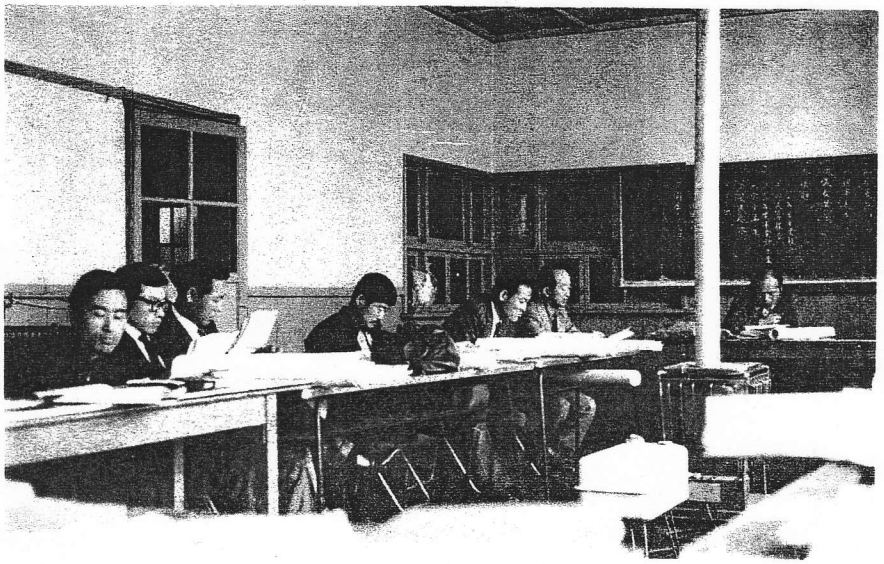
◇時間を絶ち、人をもよせつけなかった神が住むというこの絶壁も、ロッククライミングという行為の前にはたやすくくずれ去ってしまう。老いたる人は、これを見て何んと言うだろう。これも時代の流れか。

四十七年度総会より

去る、四月八日（日）東松山市公民館において昭和四十七年度総会が開催された。総会あいさつの中で野井理事長は『県山岳連盟は各地区の所属山岳会員皆の組織であるので、執行部の立案の行事だけでなく積極的に所属地区からご意見を出して戴き、会員相互の登山技術の向上を計り、縦横の連係を強め会員の和を深めよう。そして、県下から遭難事故を皆無とするよう未組織登山者の組織への吸収を計り安全登山を推進していこうではありませんか。又、対外的にも積極的に活動し、会員諸氏の理解を得たい。そういう意味でも県体育協会、日本山岳協会にも役員として出て戴き協力して欲しい』と以上のようにのべておられた。

その後、議長選出が行われ三浦氏を満場一致で選出し議題を進めた。

- ○昭和四十七年度事業報告
- ○　〃　　決算報告
- ○　〃　会計監査報告
- ○昭和四十八年度事業計画案審議（別表）
- ○昭和四十八年度予算案審議
- ○質疑応答
- ○入間市山岳連盟の加盟申請について
- ○ナンガ・パルバット隊の計画変更について
- ○千葉国体の選手選出について



以上を審議し、入間市岳連が新しく仲間入りをし県下で二十一番目の地区となりました。

また、三年来懸案のナンガ・パルバット遠征は今年もついに登山許可が出ませんので、遠征計画を断念し、来春のブレモンスーンにネパールの七千米峰に目標をもって新らたに計画を立案することに決定、これに伴い、今までの技術の総まとめとして五月二十八日より二ケ月の予定でアラスカ州のマッキンレー峰（六一九一米）に強化合宿に出発する予定です。

指導委員会報告

一、期　日　昭和四十八年四月八日（日）午後三時より

一、会　場　東松山市公民館

一、報告事項

(イ)指導員の研修会について

今年も研修会あるいは岳連の行事に年一回以上は出席することを義務づけて、これらを登録更新の時の資料とすることを決定。

(ロ)二種指導員として、新井、久保、両名認定理事会に推挙することを万場一致で可決。

(ハ)地区指導員として、斉藤、伊藤、井村、井川、宮崎、の五名を新しく認定、理事会に送付するむね決定。

理事会報告

昭和四十八年五月二十八日（日）午前十時より、東松山市公民館にて。

(イ)沢登り研修会、講習会について

会場は大血川、期日は八月二十五日（土）二十六日（日）頃とし次回七月の理事会に事業部で実施要項案をもってくる。

(ロ)県民体育大会登山大会の会場を、今年は両神山に内定する。

(ハ)各部より、事業の進め方について報告がなされ、すでに遭難対策部では遭難防止の「講演と映画会」を五月二十四日に草加市で実施、今年は四、五会場で計画中であるむね報告がありました。次回は七月十四日、熊谷市、入間市で開催。

(ニ)指導部より、二種指導員の久保、新井の両氏、地区指導員の斉藤、井村、井川、伊藤、宮崎の各氏、計七名の指導員としての認定が指導委員会で決定されたので理事会で承認して欲しいむね提案されて満場一致で可決されました。

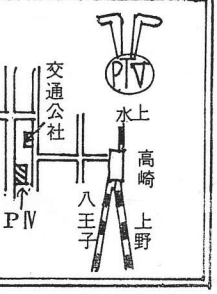
(ホ)その他としてナンガ・パルバット遠征を断念し、来春

※以下三頁へつづく。

山からゴミをなくしましょう

ゴミの持ち返りに
ご協力ください

山とスキーの専門店
PIV スポーツ
高崎市檜物町54－2
TEL 0273(26) 3888



より多くの指導者を

登山人口は、年々増えつづけており、山での事故も、それに増して多くなってきた。現在特に指導者の充実が強く求められるようになってきている。各山岳会においては、以前より指導者の養成がなされている様であり、すばらしい人材が多く活躍されている事と思う。その優秀な人達はなぜか、岳連に足遠くされている方が多い。そうゆう方々に、ぜひお願いしたい事は、個々の会の指導だけでなく、これからは個々の会よりさらに埼玉岳連全体の指導者へと、目をむけてほしい。そして指導者となられた方々には岳連関係者だけとゆう事だけでなく、一般登山者（未組織登山者）への指導、アドバイスが出来得る様、強く望まれる。事故防止の上からも、非常に意義があることで、指導者も認識を新たに指導法を考えてほしいと思う。現在、指導員は日本山岳協会公認指導員と埼玉県山岳連盟公認指導員（以下地区指導員という）とがあり、年一回検定会を行ない認定している。地区指導員検定の規約は、年令二三才以上、山歴夏冬共五年以上で、現に会で指導的立場にあり、会長の推薦が得られる者、また検定内容は実技の面では、雪上歩行、ピッケル、アイゼン、ザイルテクニック等の基礎技術、及び指導法をもって行ない、その他登山一般常識についてペーパーテストを行なっている。日山協公認指導員は、埼玉岳連の行事に参加され、年令二五才以上で地区指導員二年以上の経験を有する者で、岳連で主催共催する講習研修会及び行事に参加しての、指導法をもって検定を行なっている。指導者の育成、強化充実は、岳連をささえている会員一人々々の力であり、ぜひ多くの指導者（指導員）を誕生させてほしいと思う。

指導部　斉藤　誠

※二頁より

プレモンスーンにネパールの七千米峰ブモリかニルギル峰をアタックすることに変更したいむね計画変更の届出がありました。

(二)事業部より年間の行事が発表され八月の沢登りにつづいて十月頃県民登山大会が両神山に決定し、今回はあまり歩かれていないコースを選定して実行する予定であるむね、また優秀な高校チームは昨年と同じように表彰するとのことです。

べた本県山岳の特殊性に加えて、一般的な登山行為にあっても、読図力は基礎的なものでありながらも重要な位置を占めるものであると考えるからです。後略」

埼玉岳連も、昨年行われた団体リハーサルをかねた関東地区登山体育大会参加の経験を生かし心おきなく実力を発揮してほしいものである。

千葉国体山岳競技 特殊性にたって

第二十八回国民体育大会の山岳部門は千葉県の清澄山、鋸山系を会場に十月十四日から十八日までの五日間行なわれる。本県からも例年通り一般高校を含めて七名参加する予定でいるが、海に囲まれた県ということで通常考える登山ができないとされている。

埼玉岳連でも本格的登山が行なえない事で、今まで地区の順番制でやってきた代表派遣も今年と来年だけは希望者をつのり選考する考えでいるようだ。

山が低いからといって登山ができないわけではない。国体山岳部門予報一号に千葉岳連が〝第二十八回国民体育大会の実施に当って〟と題して次のようにのべている。

『前略、私達は、国体の一種目としての山岳競技のあり方については、近代的なスポーツとしての登山という前提にたって自然と人の融和、即ち自然の中にとけこんだ登山を行なうべきだと考えます。そして個人の積み重ねられた経験をもとに、総合的な技術、知識をじゅうぶんに発揮してチームワーク・バーライシップの生かされた楽しい有意義な登山でありたいと思います。千葉大会におきましても、これらのことを念頭に準備を進めておりますが、標高三〇〇米級の山々しかありません。入り組んだ尾根や谷の複雑な地形、しつようなかん木、やぶなど、この本県山岳の特殊性に対する知識の上にたっての登山があると思っています。

さて実施の段階に当り、その講評資料の作成についての基準は、もちろん日本山岳協会において定めたところの、一、体力　二、歩行技術　三、マナー　四、チームワーク　五、生活技術　六、服装装備　七、観察研究の七項目による訳ですが、特に最後の観察研究の項目のうち〝読図力〟を重点項目として取り上げたいと思います。その訳は先に述

マッキンレー峰（六一九一米）登山隊出発

埼玉岳連ではかねてから、「悲劇の山」「人喰い山」と云われている「ナンガ・パルバット」に遠征隊を送るべく計画を立て、再三登山許可の申請をいたしておりましたが、パキスタンの政情悪化により遂に許可を得られませんでしたので計画を変更し、来春ブッキンレーにネパールの七千米峰に目標を定めて計画をたてなおすことになり、現在慎重に検討しております。来春にそなえて馬場一雄隊長以下七名が今年五月二十八日より二ケ月の予定でアラスカのマッキンレーに今迄の登山技術研究の総まとめを含めて登頂し、かつ隊員の和を計るべく合宿に出発しました。

登山装備製造
山装舎
野井篤
入間郡毛呂山町小田谷615
TEL 04929－4－1713

冬期営業いたします
富士山吉田口五合目終点
中央佐藤小屋
TEL 富士山（吉田）2－1945

山の仲間

連盟横顔(3)　岳連地区の山

毛呂山地区

仮連絡所　入間郡毛呂山町小田谷六一五の一
　　野井　篤方

所属団体
　毛呂山山岳会　二十名

方針と活動

昭和三十年頃発会した。当時は月二回の山行と春、夏、冬の各合宿を行ない山も南、北、中央アルプス、富士、上越、秩父と巾広い活動をしてきた。又十年以上も実施してきた夏の富士登山大会は町民から大変感謝され町の体育発展にもかなり役立っている。しかし、その中心になって活動してきた紫藤明氏（岳連理事）が、もうかなり前から具合が悪かったのであるが、昨年暮に脳腫瘍で入院されてしまった。そんな関係で休会の状態であったが桑原副会長を中心に新しい時代にふさわしい会として活動すべく現在準備が進められている。皆様方には今後共よろしく御指導をお願いします。

本庄地区

事務所　本庄市西富田一四六ー二
　　小明文武方

所属団体
　本庄山の会
　沖電気工業㈱本庄事業所山岳部　二五名

方針と活動

県北の小さな場所に二団体があるが、今回は本庄山の会についてお知らせ致します。本庄山の会は結成十年をむかえたが発足以来人員は変らず、二〇名～三〇名位である。

当会の特徴は家族的な集いであり、集会は毎週行なっています。行事としては四月に総会を開き、一年間の事業計画を立て、その計画に実施担当者をもうけ計画通り実施している。合宿は年四回、その他に、シャクナゲ山行、集中登山、クライマースキー大会等があります。会員の募集は年内を通し受付し、準会員になり、正会員になるまでは、各山行内容、回数、集会の出席率等により、チェックし約四ケ月位で正会員になれる。

教育内容は、机上講習会、遭難予防、救助訓練、岩登り講習会、新製品の利用方法等があり、約三年位で山行リーダーとなれる。

会員の動行として、年間最低山行日数三十日以上であり、その内、約六五%以上が岩登りでしめている。

最近では岩登りだけでなく広い登山をする方向へ進めている。

女子も数人になり当会始まって以来の事である。

会員は海外登山を目ざし、がんばっていますので各地区の皆様に御指導をお願いします。

次号は秩父地区、入間地区川口地区を、また七号では浦和地区、草加地区、飯能地区通り実施しています。この四ヒは地区岳連の為にスペースを取ってありますので、ふるって寄稿してください。

会報ありがとう

会報寄贈いただきありがとうございます。貴重な資料として利用させていただきます。

神奈川県山岳連盟
兵庫県山岳連盟　殿
愛知県山岳連盟

昭和48年度事業計画

月別	事業部	遭対部	指導部	その他
4		春山合宿山域別入山調査	第3回指導委員会（東松山）	遭対部で、救助隊規約を作成し、隊員をまとめ実技講習会を実施する予定。 第1回打ち合せ会 5月 実技講習会　6月～
6		夏山　〃		
7		遭対特別事業映画会（熊谷）		
8	沢登り技術講習会、研修会	〃　映画会	地区指導員の沢登り研修会	
10	県体登山大会		県体登山大会	
11		冬山合宿山域別入山調査 遭対特別事業　映画会		
49 2	積雪期登山技術講習会 研修会	 遭対特別事業　映画会	積雪期登山技術講習会 指導員検定	
3	雪洞技術講習会　研修会		雪洞技術講習会 山スキー研修会	

編集室

◇予定した発行日から大変おくれて発行となり、もうしわけありません。おわびします。

◇今年は、全国的に気象の異変が起きている。からつゆに始まり、その後の猛暑、続いて真夏日の連続で夕立もない。各地で異状渇水。

◇水道関係者や農業を営んでいる人にはもうしわけないが、山を楽しむ者にとって夏型の安定した気象はありがたい。いつもなら、集中豪雨や台風に気をもませられながら入山日を待つのだが、今年は山へラジオを持っていかなくてもいい程天気がよかった。天候異変も山ヤにはうれしいことではなかったろうか。

◇県岳連も中央に役員をおくり出し活躍している折、千葉国体に事務局の加藤氏、指導部の斉藤氏らが日山協の役員として参加することを耳にした。埼玉岳連ここにありと、数年来動いてきた結果の現われと思ってみたが、もう一つ注文をつければ、一部の人に限らず会員全員が〝一層奮闘努力せよ〟を願いたい。不言実行は人の心に強い印象を残すものだ。